

## 第24期 株主通信

令和7年1月1日から令和7年6月30日まで

株式会社トーア紡コーポレーション

証券コード 3204

### ごあいさつ Top Message



## 暮らしをつむぐ ミライへつなぐ

人々そして暮らしの「アメニティ=快適」を追求し  
「暮らしと社会の明日を紡ぐ」企業グループとして、  
持続的な成長と企業価値の向上に尽力していきます。

### 第24期の業績について

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第24期中間連結会計期間（令和7年1月1日から令和7年6月30日まで）の事業概要を次のとおりご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費の増加が見られたものの、物価の上昇による実質賃金の伸び悩み等の影響で消費者マインドの低下が懸念されております。

また、不安定な国際情勢による景気減速リスクに加え、米国の関税政策を巡る不確実性の高まりにより先行きは不透明な状況にあります。

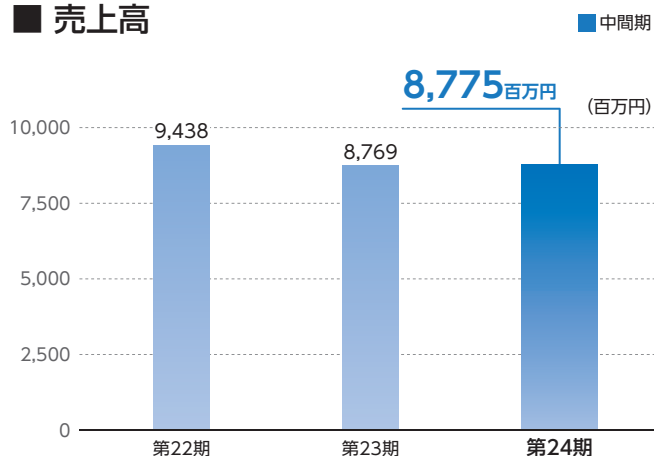
このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は8,775百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は412百万円（前年同期比55.5%増）、経常利益は505百万円（前年同期比16.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は251百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

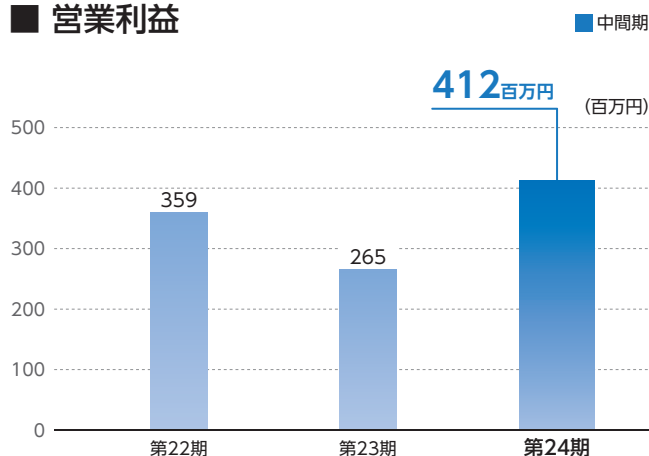
代表取締役社長 長 井 渡

# 財務ハイライト (連結)

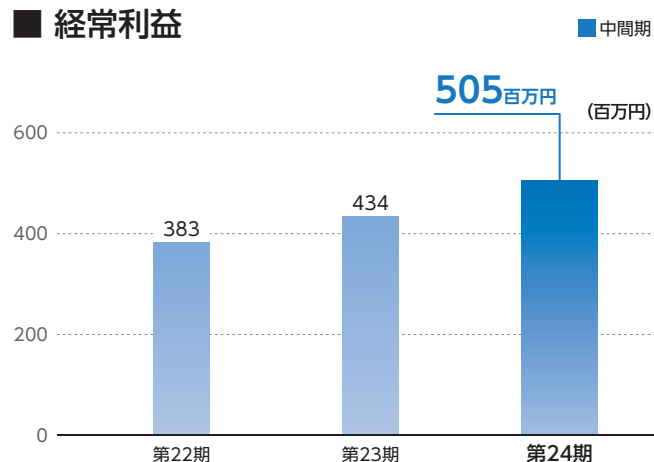
## 売上高



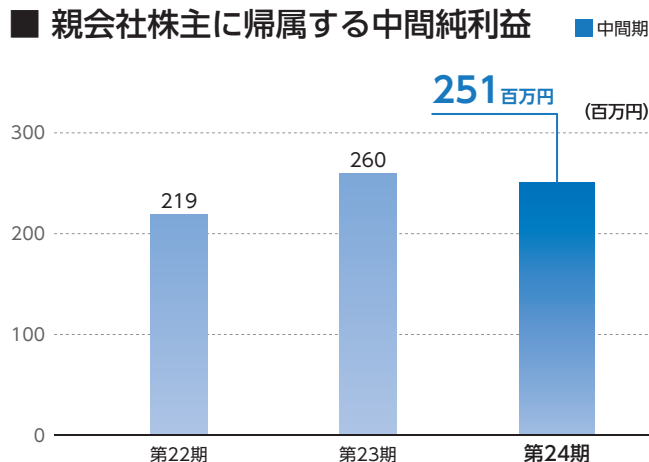
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する中間純利益



## 令和7年12月期 第2四半期 (中間期) 連結決算概要

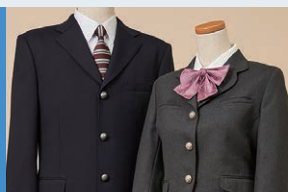
	第2四半期 (中間期) 累計		前年同期比 増減率
	令和6年12月期	令和7年12月期	
売上高	8,769	8,775	+0.1%
営業利益	265	412	+55.5%
営業利益率	3.0%	4.7%	+1.7pt
経常利益	434	505	+16.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	260	251	△3.3%

## 令和7年12月期 業績予想概要

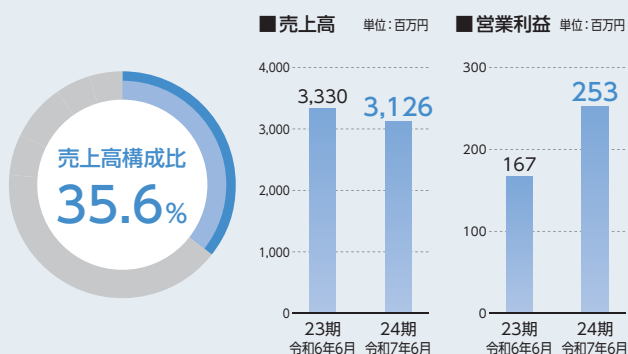
	実績	中期経営計画
	令和6年12月期	令和7年12月期
売上高	18,419	19,500
営業利益	687	800
営業利益率	3.7%	4.1%
経常利益	857	730
親会社株主に帰属する当期純利益	799	500

令和7年12月期通期業績予想は、中期経営計画通り

## 衣料事業



		(前年同期比)
売上高	3,126百万円	△6.1%
営業利益	253百万円	+51.5%
営業利益率	8.1%	+3.1pt



### 業績概要

#### 毛糸部門

- ▶セーター用ニット糸の受注が不調で減収

#### ユニフォーム部門

- ▶スクール制服向け素材は、得意先アパレルの在庫調整の影響を受けて減収
- ▶官公庁制服向け素材は、受注増と納品の前倒しに加えて、別注案件の獲得もあり増収
- ▶企業制服向け素材は、カタログ案件が低迷しており減収

#### テキスタイル部門

- ▶郊外店アパレル使用素材の非ウール化へのシフトが顕著で減収

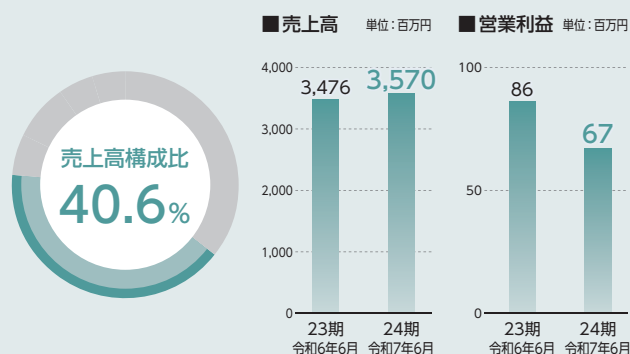
#### 毛糸製造販売を主体とする中国現地法人

- ▶日本向けの輸出が堅調で増収

## インテリア産業資材事業



		(前年同期比)
売上高	3,570百万円	+2.7%
営業利益	67百万円	△22.4%
営業利益率	1.9%	△0.6pt



### 業績概要

#### 自動車内装材部門

- ▶国内の自動車生産量が戻り、順調に推移し増収となったが、新たに導入した製造ラインのトラブルで、生産効率が一時的に低下したことにより減益

#### ポリプロファイバー部門

- ▶自動車内装材用原綿は順調に推移したが、展示会向けカーペット用原綿の需要が低調となり減収減益

#### カーペット部門

- ▶OEMでは需要が落ち着き減収減益となったが、一般資材は自動車の生産量が戻ったことにより好調に推移し増収増益

#### 特殊繊維部門

- ▶カーボン繊維の受注は好調だったが、生産体制が追いつかず減収減益

#### 不織布部門

- ▶寝装、防草関係が順調に推移し増収増益

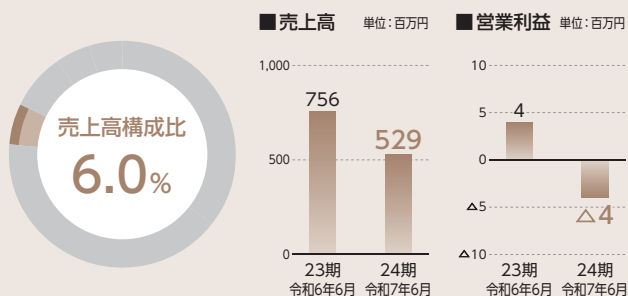
#### 自動車内装材製造販売の中国現地法人

- ▶一昨年より日系自動車会社の減産が続いており減収減益

## エレクトロニクス事業



売上高	529百万円	(前年同期比) △30.1%
営業損失	4百万円	前年同期は 営業利益4百万円
営業利益率	-	前年同期は 営業利益率0.6%



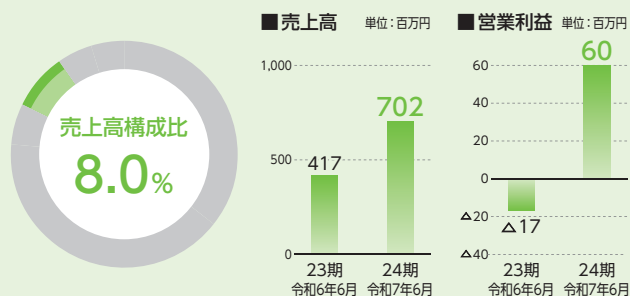
### 業績概要

- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーは、中国生産の米国向け製品が米国の関税政策の影響を受けて、大幅な生産調整となり減収減益
- ▶ パワー半導体の販売においては、産業機器分野で回復基調にあるものの、関税による影響を考慮した発注調整により受注が低調

## ファインケミカル事業



売上高	702百万円	(前年同期比) +68.0%
営業利益	60百万円	前年同期は 営業損失17百万円
営業利益率	8.6%	前年同期は利益なし



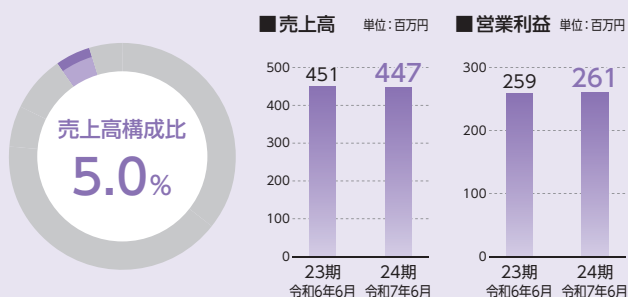
### 業績概要

- ▶ 電子材料分野は、半導体関連向けの生産販売が順調に推移し増収
- ▶ ジェネリック医薬分野は、医薬部外品向けが好調で増収

## 不動産事業



売上高	447百万円	(前年同期比) △0.9%
営業利益	261百万円	+0.9%
営業利益率	58.5%	+1.0pt



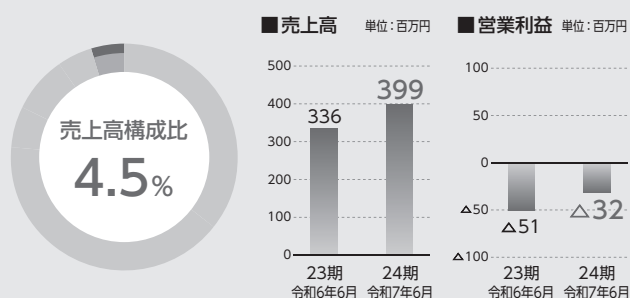
### 業績概要

- ▶ ショッピングセンターのテナントの一部が撤退した影響を受けわずかに減収となったが、販売費の減少により微増益

## その他の事業



売上高	399百万円	(前年同期比) +18.8%
営業損失	32百万円	前年同期は 営業損失51百万円
営業利益率	-	前年同期も利益なし



### 業績概要

- 自動車教習事業**
  - ▶ 大学生を中心に、順調に入校生の確保ができ増収
- ヘルスケア事業**
  - ▶ 京都大学発のアンチエイジング原料を使用したOEM化粧品の販売も好調に推移し増収
- 洋菓子店の運営事業**
  - ▶ ほぼ前年並みで推移

(注) 売上高構成比は、小数点第2位以下を切り捨てて表示しております。

## ● 環境にやさしい企業活動

13 気候変動に  
具体的な対策を



### 中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰受賞

#### トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場

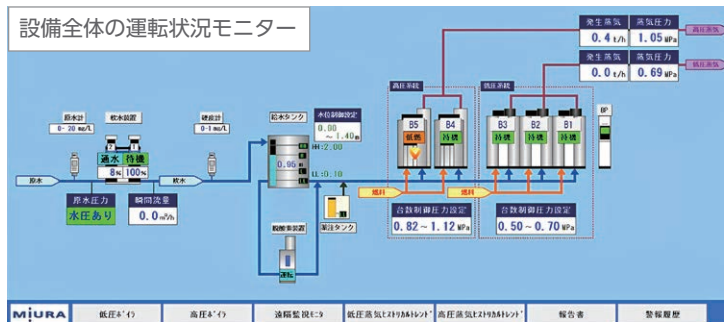
2025年2月、長年にわたるエネルギー使用合理化への取り組みが評価され、エネルギー管理功労者として中部地方電気使用合理化委員会委員長表彰を受賞しました。



取組内容

- ・ガス焚き高効率ボイラーへの更新
- ・高効率空調設備化
- ・モーターおよびポンプのインバーター化
- ・LED照明化

2025年5月、中部経済産業局「中部地域の省エネ応援サイト」に企業事例として掲載されました。詳細は、当社HP「NEWS」をご覧ください。( <https://www.toabo.co.jp/news/492.html> )



### 省エネ取り組みによる効果

炉筒煙管ボイラーを高効率の貫流ボイラーに更新し、重油から都市ガスに燃料転換した結果、生産量当たりの燃料使用量は16.5%減少、CO<sub>2</sub>排出量は38.7%減少しました。

項目	旧ボイラー (重油燃料)	新ボイラー (都市ガス燃料)	変化率
燃料使用量	1,404 kL/年	890.2 千m³/年	16.5%減
生産量当たり原油換算	61.67 kL/百万m³	51.48 kL/百万m³	
CO <sub>2</sub> 排出量	3,805 t-CO <sub>2</sub> /年	2,038 t-CO <sub>2</sub> /年	38.7%減
生産量当たりCO <sub>2</sub> 排出量	165.71 t-CO <sub>2</sub> /百万m³	101.55 t-CO <sub>2</sub> /百万m³	

燃料の使用量とCO<sub>2</sub>排出量が大幅に削減され、エネルギー効率の向上、環境負荷の低減を実現

## ● 環境配慮の仕組みづくり



### 尾州発の新たな環境基準の確立を目指して

東亜紡織(株)と(株)ソーは、ケケン試験認証センターの協力のもと、SDGsの達成に向けて『GREENWOOLバリューチェーン』を立ち上げ、『CSR、環境負荷低減と経済性の実現』をミッションとして、羊毛業界のグローバルスタンダードを目指し、構築・運用を進めております。

現在、尾州の協力工場を中心に加盟が進んでおり、CSRの評価の実施や各サプライチェーンの使用エネルギーなどをモニタリングし、CO<sub>2</sub>、産業廃棄物排出量の削減に取り組んでおります。

#### 2025年度取り組み状況

- ▶ CO<sub>2</sub>排出量を中心に環境負荷INDEXを作成中
- ▶ ブランド化の推進中 (アパレルへの提案を準備中)
- ▶ 環境配慮取り組みアイコンを作成
- ▶ ウールリサイクル商品の開発を推進



## ● 『大阪プロレス祭り』 in 大阪・関西万博にヘルスケア事業部が出店

㈱トーア紡コーポレーションのヘルスケア事業部が、2025年5月6日(火)から7日(水)にかけて大阪・関西万博 EXPO アリーナ「Matsuri」で開催された『大阪プロレス祭り』 in 大阪・関西万博に出店いたしました。

万博の来場者の方々に向けて、「ONU」ブランド製品やグループ会社であるムサシノ製薬㈱の製品など、ヘルスケア商品の販売とPRを行いました。また、『大阪プロレス祭り』にご出演されたプロレスラーの方々にもブースにお越しいただきました。



## ● 会社概要 (令和7年6月30日現在)

会社名	株式会社トーア紡コーポレーション
設立年月日	平成15年6月12日(創業 大正11年2月)
資本金	3,940,097,500円
主要な事業内容	電子機器向け部品、ファインケミカル、繊維製品の製造販売、ヘルスケア商品、化粧品の販売および不動産賃貸、子会社の経営管理
事業所	本社 大阪市中央区城見一丁目2番27号 クリスタルタワー18階
	東京支店 東京都中央区日本橋人形町一丁目2番5号 ERVIC人形町2階・7階
	大阪工場 大阪府泉大津市虫取町一丁目1番12号
従業員数	75名
ホームページ	URL <a href="https://www.toabo.co.jp/">https://www.toabo.co.jp/</a>

## ● 役員 (令和7年6月30日現在)

代表取締役社長	長井 渡
取締役	久保 徹
取締役	戸口 雄吾
取締役	戸川 崇光
取締役	堀口 泰夫
取締役	玉田 暢生
社外取締役	坂下 清信
社外取締役	高島 志郎
取締役(常勤監査等委員)	近江 学
社外取締役(監査等委員)	辻村 美樹
社外取締役(監査等委員)	師井 勝也

株主情報は



[https://www.toabo.co.jp/ir/stock\\_info/](https://www.toabo.co.jp/ir/stock_info/)



こちらをクリックまたはコードを読み取ることで  
ご覧いただけます。

## 株主優待について

株主の皆様へ日頃のご支援とご愛顧に感謝するとともに、株主優待制度を通じて当社グループに対するご理解をより深めていただき、より多くの皆様に中長期的に当社株式を所有していただくことを目的として、令和5年度より株主優待制度を新設いたしました。

本年度も昨年度と同様、令和7年12月31日時点で、同一の株主番号で当社株主名簿に1年以上継続して記載または記録されている当社株式1,000株(10単位)以上を保有されている株主様を対象として株主優待を実施予定です。